

和歌山大学 令和5年度卒業式 式辞



和歌山大学の令和5年度卒業式において、学部を卒業し学士の学位を得た882名の皆さん、大学院修士課程及び専門職学位課程を修了し学位を得た195名の皆さん、博士後期課程を修了し博士の学位を得た2名の皆さん、学位取得おめでとうございます。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様と、列席しております理事・副学長、学部長、そして本学の教職員とともに、皆さんを卒業生、修了生として送り出せることを心よりお祝い申し上げます。

本日は関係者の皆様にもお祝いとお礼を申し上げます。学生さんの卒業、修了は、学生さんのみならず保護者、関係者の方々の温かいご支援とご尽力があってこそその輝かしい成果です。その絆を感じながら、皆さんがこの大学を通して培った知識や経験を胸に、新たなる未来へと旅立つ姿を讃えると同時に、心からの祝福をお伝えいたします。

改めて卒業、修了を果たされました皆さん、おめでとうございます。卒業式というのは、学生という一つの旅が終わり、新たな未来へと向かうための扉が開かれる瞬間です。ここまでの道のりは、簡単なことではなかったことでしょう。学びの苦労や試験の日々、そして自己を見つめ直す時間、論文作成、それぞれの努力の成果が、今日の学位授与に集約されています。その過程は、皆さんが成長し、自立し強くなるための必要なステップであったことは間違いありません。日々の努力と忍耐が、今日の栄誉となったのです。またこの感動的な瞬間に立ち会えることを光栄に思います。卒業は過去への感謝と共に、未来への無限の可能性への挑戦の始まりです。まさしく今日、皆さんはその一歩を踏み出す素晴らしい瞬間に立っています。

卒業生の皆さん、これまでの学びを胸に刻み、未知の世界へ進む姿勢は、まさに未来を変える勇気と決断の表れです。皆さんが今後の人生で成長していくためには、他者の意見を聞き、あなた自身の選択が必要になってきます。

今後、皆さんは大学で培った知識を十分に生かし、社会に貢献することが求められます。成功や挑戦にはリスクを伴いますが、それを恐れずに前に進んでください。アインシュタインが言ったように、「一度も失敗したことがない人は、新しいことに挑戦したことがない人だけだ。」。失敗は成長の過程であり、新たな可能性への扉を開く鍵でもあります。それを恐れず、大胆に一步を踏み出してください。人生において失敗や困難があるのは当然です。それこそが成長の証となり、強さと知恵を培う機会となるでしょう。そして、自分の内なる声に耳を傾け、人生の指針を見つけてください。また、自分に信念を持ち、目標に向かって歩み続けることは、人生の中での大切な要素です。世界は多くの未知の道で満ちていますが、皆さんがその道を切り開く勇気を持って進んでいけば、素晴らしい発見と未来が待っています。

大学で得た知識や経験は、皆さんの内に新しい視点を生み出し、未知の世界に向けての情熱を育んでいくことでしょう。「未来は自分自身が創りだすものです。」。今後の旅路では、自らの手で未来を創り出す積極的な情熱が必要です。成功は単なる目標ではなく、日々の努力と継続的な学びの積み重ねによって築かれます。

「未来を変えるためには、まず自分が変わらなければならない。」。この言葉は、自らの変革が未来を切り開く第一歩であることを教えてくれます。皆さんはこれまで数多くの試練や努力を乗り越え、知識や経験を積み重ねてきました。しかし、これからの未来に向けては、それらをさらなる成長と共に結びつけ、新しい挑戦に立ち向かう覚悟が必要です。「努力すること、困難に立ち向かうこと、そして何よりも、決して途中で諦めないこと。」が、成功への鍵です。

さて、「一期一会」という言葉にあるように、大学生活での出会いや経験、友情や師弟関係は、これからの人生においても価値ある宝物です。この出会いや絆をいつまでも大切にしてください。卒業は同時に新たなコミュニティへの参加でもあります。今後の道のりで悩んだり、迷ったり、新たな挑戦をするときには、大学時代の仲間を頼りにしてみてください。新たな社会が見えてくるでしょう。「一人ではできないことを、みんなで協力すれば成し遂げることができる。」。大学生活で共に成し遂げてきた仲間をいつまでも大切に、互いに支え合い、共に成長していくことで、より強固な絆が築かれることでしょう。

和歌山大学は、今年度から新たな使命として「未来を切り拓く知の舞台」というキャッチフレーズを全面に掲げ、学問の力を通じて社会への貢献を追求することを目指しています。皆さんが和歌山大学で過ごした日々は、その舞台の一部であり、知識と経験を積み重ねる過程で、自己の可能性を探求し、成長してきたはずです。これからの未来への航海においても、その知識と経験、仲間、人脈を活かし、新たな地平を未来に向けて切り拓いてください。

また、私たちが大切にしている価値観のひとつに、「豊かな人間性と深い倫理観、そしてコミュニケーション能力」があります。知識の追求だけでなく、人間性の育成が重要な学びであり、その力量を大学生活で身につけてくれたに違いありません。社会に出ても、誠実さと倫理観を持ちながら、人々と協力し、理解を深め成長し続けてください。

そして、和歌山大学は、「学びと well-being の調和」を掲げています。これは、現代社会において非常に重要なテーマであり、皆さんが一生涯、健やかで充実した人生を送るための基盤です。学びと well-being の両面を大切にすることで、自分自身を成長させ、人生の喜びと充実を感じることができるようになるでしょう。その充実こそが、自分自身と周囲の多くの人々への喜びと感動をもたらすことになるはずです。

私は常に接する人には思いやりと感謝、愛情を持って配慮し、尊重する心の重要性を強調しています。皆さんには、この大切な資質を持ち続けてほしいと願っています。自分自身の欲望や都合だけでなく、相手の立場や感情を理解し、共感することができる人であり続けてください。その思いやりの心が、人々の心をつなぎ、温かい絆を築く原動力となることでしょう。思いやりは、自己中心的ではなく、相手の立場を大切にすること。自分がして欲しいことではなく、相手がして欲しいことをする行為が、真の思いやりの表れです。また、その思いやりは、相手が気付くか気付かないかくらいが最良だと考えることも大切です。見返りを求めることなく、淡々と相手のために行動することが、思いやりの真髄です。

思いやりの心を大切にすることは、社会に貢献する一歩です。自分の能力を社会の役に立てるだけでなく、人々の心に温かさと豊かさに影響を与えるよう努力してください。そして、その影響力を連鎖させ、一人ひとりが思いやりに満ち溢れた行動を取ることで、社会全体がより優しく、温かい場所となることでしょう。

「学びと well-being の調和」を重視し、この調和に「思いやり」を加えることで、より豊かな人生の軌跡を描くことができるでしょう。人々とのコミュニケーションを通じて、相手の笑顔や涙、喜びや悲しみを共有することで、自己の成長と幸福を同時に追求できるはずです。

最後に卒業生の皆さんに向けて、私たちの願いを込めて今日の式辞の言葉を送ります。「頑張りすぎないよう、頑張れ！」皆さんの未来が輝かしいものであることを信じ、これからの旅路が希望に満ちていることを祈っています。世界は変化し続けているこの変遷の時代のときこそ、自らの成長の機会です。

卒業生の皆さん、何度も繰り返しますが、今日の卒業式は新たな始まりの合図です。皆さんの成功と健康を心から願いながら、新たなる未来に向けて 1 歩ずつ、歩み出してください。和歌山大学は、皆さんを心から応援しています。今日は本当におめでとうございます。

”Let’s meet again, and please continue supporting Wakayama University.”

2024 年 3 月 25 日

和歌山大学 第 18 代学長 本山 貢